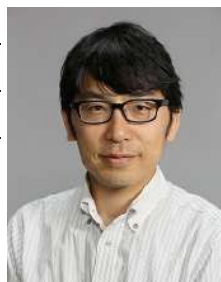


所 属 ・ 職 位	福祉健康科学部 福祉健康科学科 理学療法コース・教授			
氏 名	中田 健 (Nakata Takeshi)			
取 得 学 位	修士 (医学)、大分医科大学、2001年3月			
S D G s 目 標			リサーチマップ (researchmap) ※上記をクリック してください	

研 究 分 野	腎臓内科領域、血液透析分野、臨床研究疫学
研究キーワード	血液透析、ベイズ統計、リアルワールドデータ解析、AIの臨床応用
研 究 内 容	①腎臓領域における腎生検病理の採取糸球体個数の適正判別におけるベイズの定理の応用。 ②血液透析の診療プラクティスパターンに関するアンケート調査、全国医学部附属病院血液浄化部門連絡協議会の運営委員として活動及び研究を行っている。 ③大分大学医学部附属病院 女性医療人キャリア支援センター「医療人パパの会ペンギンズ」の発起人として、働く女性医療人の労働環境の支援及び男性医療人の育休取得活動のキャンペーン活動や各学会での講演活動を行っている。 ④DPCデータ、レセプトデータを用いたリアルワールドデータに基づく、急性期病院の血液透析患者のプラクティスパターンの研究を行っている。 ⑤学生教育にも従事し、2017年以降継続して「もう一度講義を受けたい教員」に選出されている。
研 究 業 績 ・ アピールポイント	【主な論文】 Histological classification of Japanese IgA nephropathy with a small number of glomeruli using Bayes' theorem. Nakata T, Tanigawa M, Fukuda A, Shibata H.Sci Rep. 2023 Oct 31;13(1):18663. Efficacy of the bicarbonate dialysate with acetate concentrations of 0-0.3 and 3-5: A systematic review and meta-analysis. Nakata T, Kawarazaki H, Kanaoka K, Takamasa M, Shimamura Y, Tsujimoto Y.Ther Apher Dial. 2025 Aug;29(4):609-619. Development and validation of a machine learning model to predict time to renal replacement therapy in patients with chronic kidney disease. Okita J, Nakata T, Uchida H, Kudo A, Fukuda A, Ueno T, Tanigawa M, Sato N, Shibata H.BMC Nephrol. 2024 Mar 16;25(1):101. 【科研費】 研究代表者 逆転の発想と人工知能の活用～慢性疾患における「治る」効果の実感が患者を動かすか？ 基盤研究費(C)2024-2027 透析患者の入院手術への透析専門医の介入が術後合併症、医療費に及ぼす影響の検討 基盤研究費(C)2016-2019 分担研究者 少数検査データ時のベイズ統計解析による重症度の確率の決定法 基盤研究費(C)2020-2023 バイジャンネットワークによる臨床検査データの因果関係と疾病の進行度の評価法 基盤研究費(C)2024-2027